

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会 歴史に見る羽黒山のむかしむかし

開山から1、400年以上の歴史を持つ出羽三山。約400年前に酒井家が庄内に入部してから、大きな変化を遂げます。

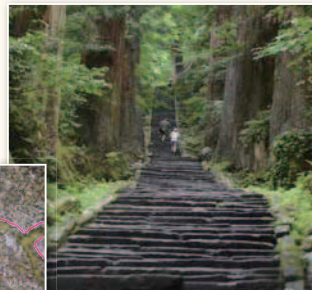
地域の宝として

羽黒山の杉並木は、昭和30年に国の特別天然記念物に指定されました。その後、平成21年には、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで三つ星を獲得し、わざわざ旅行する価値がある場所として認定されています。

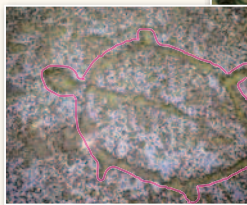
平成28年には、「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』」樹齢300年を超える杉並木につつまれた2、446段の石段から始まる出羽三山「」が日本遺産として認定され、構成文化財の一つとなっています。

2、446段の石段整備の歴史

羽黒山随神門から山頂の三神合祭殿に至る1.7kmの石段と参道の両側に立ち並ぶ杉並木は、羽黒山中興の祖「天宥別当」の時代、慶安元年（1648）か



▲参道の石段と杉並木



▲石段に彫られた「亀」

ら本格的に整備され、完成に13年の歳月が掛かったそうです。これはお山を繁栄させるために、第48代宥源別当が着手し、第49代宥俊別当、第50代天宥別当に受け継がれたものでした。今では国内外から訪れた、多くの人が石段を登る姿を見られますが、整備される前は、雨が降ると土砂等が流れ落ちてくるため、登るのが大変だったそうです。今から約400年前の方々が整備をしてくれたおかげで、安心して登れるのです。

- 問合せ 本所政策企画課 ☎25・2111 内線525
- 監修 出羽三山歴史博物館
- 出典 『羽黒町史』、『羽黒山 中興の祖 天宥さん物語り』、『羽黒山二百話』、出羽三山神社ホームページ

石段に彫られた絵

石段には「とっくり」「ひょうたん」「蓮華」「亀」などが彫られていて、これを18個以上見つけた人は大願が成就し、33個以上見つけた人はどんな願いもかなうと言われています。

これらの絵は、天宥別当が彫ったものと伝えられ、参拝者が安全に登り、思いを遂げられるよう祈りを込めて彫ったのではないとも言われています。登りや下り、雨が降ったときなど、場所や状況により見つけやすくなるものもあるので、皆さんぜひ探してみてください。

庄内藩とともに歩んだ羽黒山

羽黒山には、多くの酒井家ゆかりの建造物が残されています。その代表的なものとして、三神合祭殿と東照宮があります。

三神合祭殿は、江戸時代に2度の火災に見舞われましたが、酒井家からの支援や庄内一円からの寄進により、再建されてい

ます。

また、東照宮は正保2年（1645）に庄内藩主酒井忠勝公が羽黒山山頂に建立。今もなお徳川家康公をまつるお宮として受け継がれています。

これは出羽三山が徳川幕府との関係性を強めることで、お山の地位を高めようと、天宥別当が徳川幕府や忠勝公へ働き掛け、実現したものです。

こうした山内の整備に庄内藩とともに取り組んだことが、出羽三山繁栄の大きな力となり、現代の日本遺産の認定などにもつながっています。



▲出羽三山神社・三神合祭殿

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所 ☎997-8601

(メールアドレス) tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp
(ホームページ) http://www.city.tsuruoka.lg.jp
(フェイスブックページ) https://www.facebook.com/tsuruokacity
(窓口受付時間) 月曜～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分

藤島庁舎 ☎999-7696
羽黒庁舎 ☎997-0192
櫛引庁舎 ☎997-0346
朝日庁舎 ☎997-0492
温海庁舎 ☎999-7205

山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071

市内藤島字笹花25 ☎64-2111
市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111
市内上山添字文栄100 ☎57-2111
市内下名川字落合1 ☎53-2111
市内温海戊577-1 ☎43-2111



→メールはこちらから



→ホームページはこちらから

《人口と世帯》(令和2年9月30日現在)
住民基本台帳人口合計: 124,344人
(男: 59,480人、女: 64,864人)
世帯数: 49,243世帯